20th Anniversary
平成27年は、開館20周年。

石川県七尾美術館だより

平成27年7月1日発行
編集・発行　(公財)七尾美術財団

第82号(夏号)

①

②

③

④

開館20周年記念展・第74回七尾港まつり協賛

新寄附作品初公開！
ー池田コレクションの名品

①「絵唐津串団子文筒向附」　桃山時代(17世紀)
②「信楽水指　銘腹鼓」　桃山時代(16~17世紀)
③「色絵山水図瓢形大徳利　吉田屋窯」　江戸時代(19世紀)
④「元明清大家臨写画帖」(部分)　中林竹洞　江戸時代(19世紀)
全て当館蔵(池田コレクション)

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

展覧会紹介

平成27年7月4日(土)～10月25日(日)
休館日については裏表紙をご覧ください

開館20周年記念展・第74回七尾港まつり協賛

新寄附作品初公開！
―池田コレクションの名品

【第1期】7月4日(土)～8月2日(日)
【第2期】8月8日(土)～9月13日(日)

※掲載作品は全て「池田コレクション」新寄附作品です。

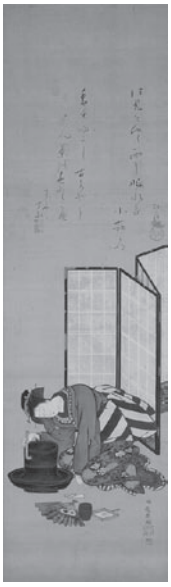
◇第1・第2展示室

改めて「池田コレクション」とは

本年で開館20周年を迎えた当館。平成7年のスタート以来、能登地区の総合美術館として数多くの作品を収蔵してきました。現在の所蔵品は約700点。時代は中世以来の古美術作品から現代作品まで、ジャンルは絵画から彫刻・工芸・書・写真と実に多彩な内容となっています。

その中で、常に所蔵品の中核と位置づけられてきたのが「池田コレクション」です。七尾市出身の実業家・池田文夫氏（1907～87）が生涯をかけて蒐集した美術工芸品で、茶道具を中心に構成されています。

その一番の特徴としては、池田氏が岐阜県大垣市を活動の拠点としたことから、岐阜県ゆかりの作品が多く含まれていることが挙げられます。



「美人居眠図」礒田湖龍斎　【第2期展示】

例えば、コレクションの主流を占めるやきもの類では、桃山時代頃に現在の岐阜県美濃地方で大量に制作され一世を風靡した、通称「美濃焼」と呼ばれる「志野」や「織部」など。そして絵画では、川合玉堂（1873～1957）や前田青邨（1885～1977）、熊谷守一（1880～1977）など、近現代に活躍した岐阜県ゆかりの作家作品がみられます。

その一方で、常に故郷石川に対して強い想いを抱いてきたという池田氏のこころを反映しているかのように、石川県ゆかりの作品、殊に松田権六（1896～1986）や前大峰（1890～1977）、初代魚住為楽（1886～1964）や高橋介州（1905～2004）など、石川の工芸界発展に大きな功績を残した作家作品が含まれているのも特徴といえます。

「絵唐津盃台」　【第1期展示】

「備前摺鉢水指」　【第1期展示】

またコレクションには、宮川長春（1682～1752）や月岡雪鼎（1726～87）などによる肉筆浮世絵、和歌山県の古刹・根来寺に由来するといわれる漆器「根来」など、池田氏の蒐集に対する「こだわり」を感じさせる作品がまとまって存在しているのもポイントでしょう。

このように、魅力的な品々が集う「池田コレクション」。その形成は、常に当館20年の歩みとともにありました。

「志野三足付香合」【第1期展示】

「織部耳付香炉」【第1期展示】

「池田コレクション」の20年

「池田コレクション」が誕生したのは、今から27年前の昭和63年（1988）のこと。その前年に池田氏が亡くなり、ご遺族のご厚意によって氏の蒐集品より計125点の作品が七尾市に寄附されたのを発端とします。その際に作品群は「池田コレクション」と命名され、コレクションを保管・公開する施設として建設が予定された当館の主要所蔵品として、その開館を待つこととなりました。つまり、当館の誕生には「池田コレクション」が大きく関わっていたのです。

そして平成7年（1994）4月、当館オープン。「開館記念展」では「池田コレクション」から32点の作品が展示され、記念すべきスタートの一翼を担いました。その際に池田家より「開館記念」として、コレクション屈指の名品「黄瀬戸六角盃」など22点の作品が新たに寄附され、コレクションはあわせて147点となります。それは総所蔵品の1／3を占めるもので、開館後は主要所蔵品として、定期的に作品を公開してまいりました。

その後「開館10周年」となる平成17年には、肉筆浮世絵や木彫など23点の追加寄附をいただきました。続いて平成23年には「根来」や「桑名盆」など漆器を中心に、重要美術品「後奈良天皇和歌懐紙」など34点が追加。いずれもこれまで当館にあまり無かったジャンルの作品がメインで、コレクションにさらに幅広さが加わります。総点数も２００点を超えました。

そして、開館20周年を迎えた今年。池田家からの再度のご厚意により、記念として新たな作品をご寄附いただきました。今回加わった作品は実に83点。コレクションは一挙に２８７点となったのです。

本展では、会期を2期に分けるかたちでそれら新寄附作品を一堂に初公開。従来の「池田コレクション」からも一部作品を加え、それぞれ貴重な品々を紹介いたします。

「色絵栗図輪花形小皿　古九谷」【第2期展示】

「色絵山水人物図角皿　小野窯」【第2期展示】

新寄附作品ラインナップ

今回ご寄附いただきました作品83点の内訳は、工芸73点・絵画８点・彫刻２点。工芸を中心に構成されており、工芸が主流の「池田コレクション」の流れを汲んだ顔ぶれといえます。

その中で一番の注目点は、やきものが充実していること。工芸73点中、やきものが実に59点を占めています。中でも目をひくのは「九谷焼」で、その創始とされる「古九谷」を始めとして、江戸時代後期に制作された「吉田屋窯」「粟生屋窯」といった「再興九谷」など、「九谷焼」の小皿や鉢・徳利といった食器類など28点が一挙に追加されました。これでコレクションに「九谷焼」という、新たな1ジャンルが形成されたのです。

加えて「美濃焼」や「唐津焼」など、桃山期のやきものが多く含まれていることもあります。「美濃焼」についてはこれまでもコレクションの大きな特徴でしたが、今回は「志野」や「織部」など12点が加わりました。さらに「唐津焼」の11点とあわせ、「美濃焼」を中心とした桃山陶のコレクションが、さらにボリュームアップしたといえるでしょう。

その他には、工芸では加賀象嵌で名を馳せた石川県の金工作家・高橋介州（１９０５～２００４）の作品など、そして絵画では、土佐光起（１６１７～９１）や中林竹洞（１７７６～１８５３）といった、主に江戸時代に活躍した絵師の作品などがみられます。

「三島本地絵巻」（部分）土佐光起【第１期展示】

なお本展では、第１期に「美濃焼」や「唐津焼」など、第２期には「九谷焼」を中心にそれぞれ展示を予定しています。開館以降、当館の「顔」として親しまれてきた「池田コレクション」。その新メンバーを、ぜひともご鑑賞ください。

◇観覧料

	個人	団体
一般	350円	280円
大高生	280円	220円

※中学生以下無料、団体は20名以上です。

記憶の中に

7月22日（水）～9月13日（日）

◇第3展示室

作品を制作する際、作家と「時」を共有した風景や家族、友人、ペットなどが作品のモチーフとなることが多々あります。

「時」は経過し記憶の中に留まるもの。「時」を積み重ねるにつれ、初期の「記憶」は曖昧になります。変わっていくものと、変らないもの。「記憶」は見つめ直すことで、上書きされ、新しい「記憶」として姿を変えるかもしれません。

作家は作品に「時」を閉じ込め、我々は作品を鑑賞することで作家の「記憶」に触れることができます。慣れ親しんだ風景はもちろんのこと、訪れたことのない景色に何処か懐かしさを覚え、共に過ごしたことのないものたちに愛着を感じる。

作家とその眼差しを共有し、作家の（私の？あなたの？誰かの？）「記憶」の中に入り込んでみてください。絵画、彫刻合わせて約30点を展示します。

「K子（長女）の首」田中太郎

「シネマ」山本隆

※観覧料は「新寄附作品初公開！－池田コレクションの名品」と共通料金です。

開館20周年特別企画

長谷川等伯の水墨画を中心に

9月19日(土)～10月25日(日)

◇第1・第2展示室

本年は当館開館20周年という記念の年で、皆様のご協力をいただき、春に続いて秋にも等伯作品をご覧いただける運びとなりました。水墨画を学ぶ催しなども予定していますので、あわせてお楽しみください。

能登国七尾出身の長谷川等伯（1539～1610）は、すでに20歳代には信春の名で絵仏師として活躍、遅くてもその頃には京都を往来し、30歳代中頃には正式に京都へ移住したと考えられています。一時期狩野派に学んだとされ、その時期は30歳代後半頃から40歳代とする説が一般的でしたが、最近では20歳代前半頃に京都で学んでいたとする見解も注目されています。いずれにせよ等伯は、京都において大名、高僧、茶人など、当時一級の権力者や文化人たちと親交し、長谷川一派を成して大寺院や豊臣秀吉などの御用を務めていきました。

等伯は大変器用な絵師で、彩色豊かで緻密な仏画や、国宝「楓図壁貼付」（京都市・智積院蔵）に代表される金地の華やかな障屏画が得意かと思えば、晩年は水墨画の名作を多く遺しています。本展では水墨画に焦点をあて、重要文化財の襖絵や「複製松林図屏風」を含めた12点を紹介します。春の展覧会に比べて点数は多くございませんが、等伯の様々な水墨画の表現をご覧ください。

■信春時代の水墨画■

等伯は若き信春時代から、中国の絵画や日本における室町時代の水墨画に学び、研鑽を積んでいました。伝統的な山水画はもちろんのこと、人物画も描きました。また、他派の作品からも、様々な技法を吸収しています。信春時代の水墨画からは、等伯の学びの背景と学習姿勢が垣間見えるのです。

①石川県指定有形文化財
「達磨図」1幅
長谷川信春（等伯）筆　室町～桃山時代
七尾市・龍門寺蔵

達磨は9年間岩穴にこもり、面壁座禅したことでも知られる禅宗の始祖。

本図は40歳前後の筆とされ、着物の形状などが近似することから、京都市・大徳寺の真珠庵に伝わる、室町時代の曾我派の画家・曾我墨溪筆「達磨図」を実見した後に描いたといわれています。繊細な顔貌表現と、一気に引いた力強い衣の線描を描き分け、達磨のどっしりとした風貌と、何物にも動じない存在感を巧みに表現しています。

なお、以前は上部に賛があったことが知られており、大徳寺塔頭寺院の高僧による賛であった可能性も指摘されています。

■等伯時代の水墨画■

等伯は晩年、水墨画に美の境地を求め、多くの名作を描きました。中国南宋の画家・梁楷や、禅僧画家・牧谿の影響を受けながらも、藁筆や竹筆なども使いこなし、墨の濃淡を自由自在に描き分け、国宝「松林図屏風」（東京国立博物館蔵）をはじめとする、数々の名作を生み出していきました。

②国指定重要文化財
「竹林猿猴図屏風」6曲1双内右隻
長谷川等伯筆　桃山時代
京都市・相国寺蔵

晩年等伯が最も影響を受けたのが、牧谿の作品です。中でも名作と名高いのが、大徳寺所蔵の国宝「観音猿鶴図」（3幅対）。等伯はその鶴とそっくりな鶴を描き、猿猴図にいたっては、何点も描いています。

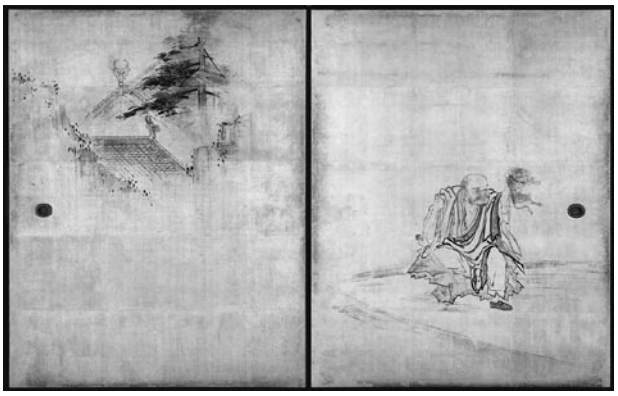
牧谿が描いた様式の手長猿は日本で人気があり、多くの画家たちが描きました。等伯も例外ではありませんでしたが、牧谿の猿は母猿が自然の厳しさから子猿を守ろうとするかのような表現であるのに対し、等伯の母子猿は相国寺本、龍泉庵本共に、微笑んで戯れる姿で描かれます。また、父親らしき猿も描き加えられており、明らかに描く視点が異なるのです。特に本図では、背景の金泥が優しい木漏れ日のような効果を生み出し、より温かみを感じます。こういった表現からは、等伯の人間像が浮かび上がってきます。等伯の人気の理由は、そんなところにもあるのかも知れません。

なお、本図の左隻には竹林が描かれています。

③国指定重要文化財
「禅宗祖師図」16面内2面
長谷川等伯筆　桃山時代（慶長7年・1602）
京都市・天授庵

本図は禅宗の公案（禅問答の問題集のような本）に書かれた話の内、「南泉斬猫」を題材とした作品。

弟子たちが猫を巡って言い争う姿を見た南泉和尚は、その根本にあるものを問い、答えられなければ猫を斬るといいましたが、誰も答えることができず、結局猫は斬られてしまったという話です。この話には続きもありますが、猫は一体何を表しているのでしょうか。執着やこだわりともいわれますが、いきなり首をつかまれた子猫の表情は驚きの様相でこわばり、毛も逆立っているように見えます。右手の袖をまくり上げて刀を握り、左手で子猫の首を引っつかまえた和尚は力強い筆線で描かれ、緊張感もあって鬼気迫るものがあります。



◇観覧料

	個人	団体
一般	600円	500円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料、団体は20名以上です。

関連イベント予定♪

①スペシャル座談会「等伯水墨画を語る」

日　時：9月22日（火・祝）午後2時～午後4時
参加者：等伯研究の専門家など数名を予定。
聴講料：無料
※詳細は7月中旬頃にHPなどでご案内します。
☆ご聴講の方全員に、等伯関連の絵ハガキをプレゼント。

②子ども水墨画アーティスト誕生！

日　時：9月23日（水・祝）午前10時～午後3時
講　師：外部専門家　　**参加費**：無料
対　象：小学4年生～中学生　**定　員**：先着15名
※公開ワークショップです。持ち帰り用小作品と大型協同作品を制作します。大型作品は翌日から展示予定。

③等伯に挑む！墨表現ワークショップ

日　時：10月4日（日）午前10時～午後3時
講　師：外部専門家　　**参加費**：1，500円
対　象：高校生以上　　**定　員**：先着15名
※墨表現を学ぶワークショップ。作品は持ち帰ります。
★②③共、8月29日（土）午前9時より電話申込受付開始。
七尾美術館☎0767（53）1500

貸館催し物案内

市民ギャラリー

第20回七尾日創展

無料入場

7月9日（木）～12日（日）
初日は午後1時から、最終日は午後4時まで

公募により県内外から出品された日本画を中心とする絵画約60点を展示します。若さあふれる作品からベテランの充実した作品まで、個性あふれる作品をお楽しみください。

主　催　日創会
連絡先　三宅厚史　☎0767(77)1368

第21回七尾美術作家協会展

無料入場

7月17日（金）～20日（月・祝）
初日は午前9時から、最終日は午後3時まで

第74回七尾港まつり協賛事業として、協会会員の近作を一堂に展示します。七尾市民の美術文化の向上・発展を目指した活動をしています。又、コラボ展示もしていますので、是非ご来館をお待ちしています。

主　催　七尾美術作家協会
連絡先　七尾美術作家協会事務局　内藤雄鵬
☎0767(52)4755

子ども「長谷川等伯展」

無料入場

9月19日（土）～10月14日（水）

市内小学校児童による、長谷川等伯の水墨画作品を真似た作品展示を行ないます。本物の等伯作品の展示に合わせての展覧も魅力となっています。水墨画による力作を是非ご覧ください。

主　催　等伯生誕の地PR事業支援委員会
連絡先　七尾市教育委員会文化課内
☎0767(53)8437

アートホール

原田実と仲間たち 津軽三味線コンサート

無料入場

9月6日（日）　開演　午後1時00分

民謡、三味線を始めて35年になりました。お陰様で入賞4回、準優勝4回、日本一のタイトルもいただきました。まだまだ未熟ですが、皆様に聞いて頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

主　催　民謡　昭実会
連絡先　原田　実　☎0767(53)2562

長谷川等伯展～日本障壁画の最高傑作「楓図」公開～を終えて

開館20周年等を記念して2度目の国宝「楓図」や重要文化財5点を含む作品数27点の公開となった本展覧会は、4月18日から23日間の会期で、15、716人の観覧者で賑わいました。1日当たりの平均観覧者数は683人と、平成11年の国宝「楓図」、同20年の国宝「桜図」の公開時を上回る結果となりました。

安部龍太郎氏の直木賞受賞作品「等伯」の影響による近年の等伯人気はもちろんのこと、能越自動車道七尾氷見道路開通、北陸新幹線金沢開業の効果もあったものと思っております。

市内全中学生と小学生高学年の計2、250人も観覧し、「等伯なんでもクイズ」にも積極的に参加してもらいました。学芸員の説明に熱心に耳を傾け、目を凝らして真剣に作品を見る姿はとても印象的であり、子どもたちに深い感銘を与えたものと確信しています。

静かに作品を鑑賞したいというお客様にはご迷惑をおかけした点もありますが、その一方で郷土が誇る偉人の本物の作品に触れる機会を設ける当美術館の取組みに賞賛の声もいただきました。今後も観覧情報などをしっかりとお知らせしながら、子どもたちの鑑賞の機会を設けていきたいと考えています。

4月17日の開会式には小丸山小学校5年生を特別招待しました。

開会式後、嶋崎館長の作品解説には、熱心に聞き入る多くの姿が見られました。

開会式の後に実施した友の会会員限定「先取り！等伯展」では、ティルームで歓談の後、学芸員からエピソードも含めて作品の魅力を聞きながら、一足早く作品を堪能いただきました。

4月29日開催の記念講演会では、京都教育大学名誉教授で等伯作の重文「山水図襖」所蔵の隣華院ご住職でもあられる脇坂淳先生が、「等伯の障屏画について」と題して、年代による作画傾向の変化や狩野派の影響とその違いなどについて講演され、参加者は熱心にメモを取っていました。

絵仏師等伯、叙情性豊かな金碧画、そして、水墨画という3つのテーマでの展示方法に、等伯作品への理解もしやすく、熱心なファンはもとより、初めての方も時間の経つのも忘れて等伯作品の魅力に浸っていただくことができたものと思っています。

観覧者アンケートでは、感銘を受けたことやお褒めのことばを多くいただきましたが、展示位置や明るさ、ケースの反射、鑑賞態度などのご指摘もあり、主催者としてより良い展覧会を開催できるように、さらに努めてまいりたいと考えております。

会期中展示室の様子

「先取り！等伯展」では、学芸員の作品展示にまつわる四方山話に講座が盛り上がりました。

本展覧会開催にあたり、出品いただきました所蔵者の方々に改めてお礼申し上げますと共に、特別協力・後援・補助いただきました、関係の皆様に心よりお礼申し上げます。

参加者大募集！

友の会美術講座開催のお知らせ
「池田コレクション鑑賞会～やきものの魅力を知る～」

「新寄附作品初公開！－池田コレクションの名品」開催にあわせ、「やきもの」の魅力についての講座を開催します。

講師に、元石川県立美術館学芸課長　南　俊英氏をお招きし、「やきもの」の歴史から鑑賞のしかたまでわかりやすく学び、展覧会も観覧します。

皆様のご参加をお待ちしております。

○日　　時：平成27年8月9日(日)13：30～
○集合場所：石川県七尾美術館エントランス
○参 加 費：500円
○定　　員：先着8名
○募集開始：平成27年7月11日(土)9：00～

～共通パスポートで入館自由～ 美術館ファンのあなたにお勧め

本年4月から、七尾市内の文化施設等8か所を期間中なら何度でも入館でき、本市所蔵の美術品の鑑賞や特色ある文化・歴史を堪能できる共通観覧券制度がスタートしました。

特に、年間共通パスポートの魅力は、七尾美術館での等伯展をはじめとする様々な企画展・所蔵品展や能登島ガラス美術館での古今東西のガラス作品を紹介する企画展・所蔵品展など、工夫を凝らした展覧会を1年間にわたり十分楽しめます。

魅力の二つ目は、年間共通パスポートの代金が大人1人2，600円と、とてもお得な値段設定となっていることです。

全8施設を1年間に大人1人が各1回入館・観覧（七尾美術館とガラス美術館は、展覧会毎に観覧すると仮定。）すると合計9，700円になりますが、三分の一以下の経費で入館・観覧できます。入館回数に制限がありませんから、一層お得感は高くなります。

さらに、有効期限は発行した日から起算して1年間ですので、購入時期に関係なく確実な利用が期待できます。ぜひ美術館でお買い求めください。

なお、対象施設は、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、七尾城史資料館、懐古館、能登国分寺展示館、蝦夷穴歴史文化センター、中島お祭り資料館・中島お祭り伝承館、明治の館（室木家住宅）の8施設です。

◇金額・有効期間等

種別名	金額（円）	有効期間
年間共通パスポート	一般 2，600 大学生以下 1，300	発行した日から起算して1年間
2日間共通パスポート	一般 1，000 大学生以下 800	発行した日から起算して2日間

ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆっくりおくつろぎください。

★期間限定おすすめメニュー

【冷やし白玉ぜんざい】（500円）

ふっくら柔らかな小豆の風味と舌の上をつるんとすべるような白玉の食感がお口の中でやさしく溶け合います。暑い夏の午後、ほっと一息にぴったりの和スイーツです。

冷やし白玉ぜんざい

【コーヒーゼリー】（500円）

ほろ苦いコーヒーゼリーにバニラアイスとホイップクリームをトッピング。大人も子どもも大好きな夏の定番！

コーヒーゼリー

【ゆずサイダー　はちみつ入り】（450円）

柚子の香りと風味がしゅわしゅわサイダーですっきり楽しめます。

ゆずサイダー

◎期間9月13日まで
営業時間　9時30分～17時
（ラストオーダー16時30分）

★友の会会員の皆様
会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10％割引になります。（10円未満切捨）

長谷川等伯作品展示情報（7月1日現在）

◆高岡市美術館（富山県高岡市中川1-1-30）
☎0766-20-1177

●展覧会名
「コレクションのチカラ－未来に伝えたいアート」

●会　期　7月25日（土）～8月30日（日）

●出品作品
①「日蓮聖人像」　1幅
②「釈迦・多宝如来像」　1幅
③「鬼子母神十羅刹女像」　1幅
④「三十番神図」　1幅
全て長谷川信春（等伯）筆、高岡市・大法寺蔵
⑤「日蓮聖人像」　1幅
長谷川宗清（道浄）筆、高岡市・妙傳寺蔵

※展示期間は①・②は7／25～8／9、③・④は8／11～8／30、⑤は全期間です。

◆出光美術館（東京都千代田区丸の内3-1-1）
☎03-5777-8600

●展覧会名
「日本の美・発見X　躍動と回帰－桃山の美術」

●会　期　8月8日（土）～10月12日（月・祝）

●出品作品
①「松に鴉・柳に白鷺図屏風」　6曲1双
②「竹鶴図屏風」　6曲1双
③「竹虎図屏風」　6曲1双
全て長谷川等伯筆、出光美術館蔵

※展示期間は①は8／8～9／6、②・③は9／8～10／12です。

◆富山県水墨美術館（富山市五福777）
☎076-431-3719

●展覧会名
「旅に生きた水墨画の巨匠たち－雪舟から等伯へ」

●会　期　10月9日（金）～11月8日（日）

●内　容
水墨画の大家・雪舟と、等伯などその系譜に連なる画家たちの作品を紹介する特別展。次号で詳しく紹介いたします。

これからの展覧会予定

平成27年11月6日(金)～12月13日(日)　会期中無休

◆第1・2・3展示室「2015 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

イタリアの古都ボローニャで毎年春に開催される児童書専門見本市ボローニャ・ブックフェアでは、絵本原画コンクールが実施されています。有名無名、出版経験の有無にかかわらず公平に審査されるため、新人イラストレーターの登竜門ともなっており、絵本の新たな可能性を探る様々な作品が集まります。

ボローニャ国際絵本原画展はコンクールの入選作品を紹介する展覧会です。今年は約3000組の応募作品から、10名の日本人作家を含む、24ヵ国76作家が選ばれました。５枚１組で構成されるイラストはバラエティ豊かで個性に溢れています。特別展示は、昨年「ボローニャＳＭ出版賞」を受賞したポルトガルのカタリーナ・ソブラルです。新作絵本『人魚と恋をした巨人たち』（Ediciones SM，2015）の全原画20点を含む、５タイトル43点の原画を紹介します。絵本コーナーでは、ボローニャ・ラガッツィ賞受賞絵本など国内外の絵本も多数展示します。

印刷された絵本からは感じることのできない原画の魅力をお楽しみください。

「おうち探検」マヤ・カステリッツ（スロヴェニア）

平成27年12月18日(金)～平成28年2月14日(日)

◆第１展示室「池田コレクションにみる　色とりどりな器たち」

「器」とは物を入れる道具。用途によってその種類は千差万別ですが、人びとはそれをただの容器としてではなく一つの「美術品」として、形や装飾などに様々な技巧を凝らしてきました。

本展は「池田コレクション」より、やきものや漆によって制作された多彩な器を紹介します。

「硯箱」小川破笠
（池田コレクション）

◆第２展示室「顔・かお・カオ ～すばらしきかな、その表情～」

「百面相」という言葉があるほど、人の表情は多様です。笑い・怒り・悲しみなど、その時々の感情に応じて美醜様々に変化する顔は実に魅力的で、美術工芸の格好のモチーフでもあります。

本展では各作品に表された色々な「顔」を、当館所蔵品をとおして紹介します。

【前号のお詫びと訂正】

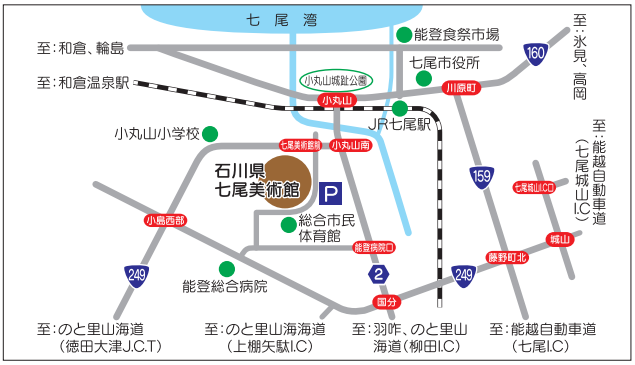
前回発行の「美術館だより第81号(春号)」表紙、「楓図壁貼付」作品キャプション内の制作年で「文禄元年(1952)頃」とあるのは、「文禄元年(1592)頃」の誤りでした。ここに訂正して深くお詫び申し上げます。

プレミアム・パスポート　子育てにやさしい店

割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット　FREESPOT ブロードバンド・オアシス

エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESPOT」をご利用頂けます。



飛行機……能登空港から「のと里山海道」利用約45分
車……「のと里山海道」徳田大津J.C.Tから約15分又は「能越自動車道」七尾城山I.C又は七尾I.Cから約10分
タクシー…JR七尾駅から約５分
徒歩……JR七尾駅から約20分
市内循環バス「まりん号」
……JR七尾駅前「ミナ.クル」バス停から「七尾美術館前」下車（順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便）
ななおコミュニティバス「ぐるっと７」
……JR七尾駅前５番乗り場から「小丸山台１丁目」下車（西コース約10分、１日４便）

◎次号・第83号（秋号）は10月１日発行予定です。

◆7月～9月カレンダー◆　※■は休館日
◆開館時間◆　午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

2015 7 JULY						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8 AUGUST						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9 SEPTEMBER						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

〒926-0855　石川県七尾市小丸山台一丁目1番地
TEL(0767)53-1500／FAX(0767)53-6262
http://nanao-art-museum.jp